

「光老化」啓発プロジェクト・第7期活動への協賛のお願い

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2016年4月よりスタートいたしました「光老化」啓発プロジェクト活動も本年度で第7期を迎えることとなりました。これまで幅広い分野の企業団体からのご協力を賜り、様々な啓発活動を積極的に推進して参りました。その結果、「光老化」に対する国民の理解度、認知率も向上し一定の成果を上げることが出来ました。

第7期啓発活動は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延により定着したマスクの着用と日焼けについてフォーカスした啓発を継続しつつ終息後の環境を視野に入れ、日々のちょっとした外出の際にもサンスクリーン剤やサングラスなどでケアすることの必要性など生活に密着した情報による啓発を継続して参ります。

さらに、光老化対策が低ビタミンD状態を招くかのような誤った情報に対して、エビデンスをもって適切なメッセージを日本フォトダーマトロジー学会と共同で発信強化していく予定です。

新型コロナウイルス感染症、ウクライナ紛争と世界的に厳しい状況が継続する中で本趣意書を送付させて頂くのは、まことに心苦しくもありますが、国民の美と健康に寄与する活動に対して積極的に取り組まれている貴社におかれましても本活動の趣旨をご理解いただいたうえで、本プロジェクトの意義と諸事情をご賢察下さり、「光老化」啓発プロジェクト第7期活動に対しまして是非ご協賛を伏してお願い申し上げます。

末筆ながら、新型コロナウイルス感染症またウクライナ紛争の終息とご健勝、貴社のご隆盛を祈念いたします。

謹白

2022年6月吉日



(商標登録：第5946159号)

特定非営利活動法人皮膚の健康研究機構

理事長 宮地良樹

「光老化」啓発プロジェクト委員会

川島 眞、川田 暁、錦織千佳子、宮地良樹、森田明理



「光老化」啓発プロジェクト概要

■「光老化」啓発プロジェクトの目的

国民に対して、太陽光線（紫外線、可視光線、赤外線）による身体への障害（皮膚における老徴、皮膚癌、白内障など）の理解を深め、それを「光老化」と呼称することの認知度を高める。

- 老徴のみならず皮膚癌予防に通じることを啓発し、国民の健康増進、医療費削減に寄与する。
- 白内障ほかの光線による眼障害を適切に予防することの重要性を啓発する。
- サンスクリーン剤の適正使用を啓発し、日常的に使用することにより光老化を防ぐことが可能であることへの理解を広める。

■啓発対象：国民全体

乳幼児・小児・学童期=保護者、中高生以降～成人

■実施期間：

第1期活動（2016年1月～2017年6月）

第2期活動（2017年7月～2018年6月）

第3期活動（2018年7月～2019年6月）

第4期活動（2019年7月～2020年6月）

第5期活動（2020年7月～2021年3月）

第6期活動（2021年4月～2022年3月）

第7期活動（2022年4月～2023年3月）

■活動実施組織

主 催：NPO 法人 皮膚の健康研究機構「光老化」啓発プロジェクト委員会

事務局：NPO 法人 皮膚の健康研究機構内「光老化」啓発プロジェクト事務局

後 援：日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、日本美容皮膚科学会、日本化粧品学会、
日本フォトダーマトロジー学会、日本化粧品工業連合会、日本コスメティック協会

協 賛：皮膚科・眼科関連学会、化粧品・製薬関連企業、美容関連企業、眼鏡・レンズ関連業界、
フィルム関連業界、その他の関連団体を予定

活動報告書

協賛企業一覧（順不同）

アクセース株式会社、株式会社コーセー、株式会社資生堂、株式会社プロティア・ジャパン、HOLT ジャパン、常盤薬品工業株式会社ノブ事業部、株式会社ポーラ、ポーラ化成工業株式会社、サンファーマ株式会社、株式会社マナビス化粧品、愛眼株式会社、アンファー株式会社、伊藤光学工業株式会社、株式会社 FTC、オートグラス株式会社、花王株式会社、株式会社カネボウ化粧品、サンスター株式会社、株式会社サンバリア 100、株式会社ジェイメック、株式会社スキんキュア・ラボ、セイコーアイウェア株式会社、マルホ株式会社、株式会社明治、持田ヘルスケア株式会社、株式会社アイ・ティー・オー、株式会社ウテナ、エル・シー・エス株式会社、カタログハウス、ジェイオーコスメティックス株式会社、株式会社ノエビア、ピアス株式会社、株式会社富士フイルムヘルスラボラトリー、ロート製薬株式会社、株式会社 applause、株式会社伊勢半、岩瀬コスファ株式会社、株式会社 HBC サイエンス研究所、東洋ビューティ株式会社、日本メナード化粧品株式会社、ビタミン C60 バイオリサーチ株式会社、株式会社桃谷順天館、日本ロレアル株式会社、株式会社 AFREVI

後援団体一覧

公益社団法人日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、一般社団法人日本美容皮膚科学会、日本化粧品学会、日本フォトダーマトロジー学会、日本化粧品工業連合会、一般社団法人日本コスメティック協会

■「光老化」啓発プロジェクト活動報告概要（2021年度）

1. 主催 NPO 法人 皮膚の健康研究機構「光老化」啓発プロジェクト委員会

2. 活動概要

<PR 関連>

2021年5月 日本臨床皮膚科医会 光老化ポスター・小冊子配布
 2021年5月 MedPeer（メドピア）経由動画配信
 （光老化とその対策～日焼け止めの選び方と正しい塗布指導～）
 2021年6月 マスクと光老化に関する SNS 定期配信開始
 2021年10月 日本臨床皮膚科医会 皮膚の日イベント用小冊子配布
 2022年3月 日本臨床皮膚科医会 マスクと光老化に関するポスター配布

<その他>

「光老化」認知度調査
 2021年10月 マスク着用時の光老化に対する意識
 2022年3月 遮光とVD不足に対する認識

3. KPI 目標達成状況

1) 「光老化」認知率 “知らない” と解答する割合

(1) 認知率調査結果

	知っている・聞いたことがある	知らない
第1回(2015年10月)	13.8%	86.2%
第2回(2016年5月)	19.6%	80.4%
第3回(2016年12月)	21.2%	78.8%
第4回(2017年4月)	19.6%	80.4%
第5回(2017年9月)	21.8%	78.2%
第6回(2018年8月)	23.1%	76.9%
第7回(2019年11月)	22.1%	77.9%
第8回(2020年6月)	21.5%	78.5%
第9回(2021年1月)	19.9%	80.1%
第10回(2021年10月)	22.8%	77.2%
第11回(2022年3月)	21.2%	78.8%

■光老化啓発プロジェクト第6期収支（実績）

収入

【単位：万円】

期 期間	6期 (2021.4~2022.3)
協賛金	650
収入合計	650

支出

広告掲載・市民公開講座	新聞広告・WEB広告・市民公開セミナーWEB採録・動画撮影費等	242
資材作成	ポスターデザイン・小冊子デザイン・資材発送費・印刷費等	61
ホームページ関連	作成費用・運営費・修繕費等	140
PR活動費用	学会等資材同梱費・セミナー開催・各種イベント開催設営費用	77
認知度調査実査および集計		39
調査研究費		88
NPO共通管理費		48
支出合計		695

収入 - 支出	-45
前期繰越金	658

翌期繰越金	613
--------------	------------

■光老化啓発プロジェクト第7期収支（予定）

2022年活動予定（2022年4月～2023年3月）

1. 活動基本方針

- 1) マスク着用時における対策とポストコロナにおける光老化対策
- 2) 光（ひかり）老化の文字使用の徹底と認知・認識率の向上
- 3) 異業種（衣料、フィルム・ガラス業界）とのコラボレーション啓発
- 4) 紫外線防御とビタミンDについて適切な情報発信
- 6) 光老化に関する調査・研究の実施

2. 広告活動内容（発信メッセージ）

1) メッセージ

- | | |
|----------|---|
| 2022年度前半 | ポストコロナにおける光老化対策
サンスクリーンの正しい塗り方・選び方の発信
新メッセージ「太陽光を浴びて皮膚のジリジリを感じたら光老化に注意」 |
| 2022年度後半 | 秋・冬の紫外線他対策の重要性
夏の肌ダメージケア方法 |
| 通年 | 普段の生活に密着した紫外線ケアについて発信 |

2) 啓発サイト（ホームページ）のコンテンツ強化

- (1) SNSを活用した情報発信の強化
- (2) 帽子、日傘、サングラス、衣類、ガラス・フィルム等の情報を充実

3) 美容・健康関連雑誌 記事・広告等

3. セミナー

1) Web 記事定期配信

- ポストコロナにおける光老化対策
- 新メッセージ発信「太陽光を浴びて皮膚のジリジリを感じたら光老化に注意」

2) その他関係学会・団体への協力依頼を通してイベント開催予定

■収支（予算案） 第7期活動 2022年4月～2023年3月

収入 【単位：万円】

第五期寄付金繰り越し	613
協賛金等	900
合計	1,513

支出

啓発資材作成費（ポスター、小冊子）	200
ホームページ関連	300
PR活動費用	150
美容・健康関連雑誌記事広告掲載	150
Web・SNS記事定期配信・記事体広告	300
調査費	150
通信費・雑費	100
事務局費	120
予備費	43
合計	1,513

協賛金募集要項

1. 募金の名称

「光老化」啓発プロジェクトに関する協賛金

2. 募金の目的

「光老化」の啓発を目的とした活動資金

3. 募金の目標額

900 万円

4. 募金申し込み方法及び期限

1) 協賛 A、協賛 B、協賛 C : 1 50 万円 何口でも

2) 協賛 D : 1 10 万円 何口でも

3) 協賛 E (個人) : 1 1 万円 何口でも

※詳細は協賛特典をご参照ください

5. 協賛金の用途

「光老化」の啓発活動を行うための運営費用

6. 協賛金の申し込み及び支払い

1) 所定の「寄付金（協賛金）申込書」を下記宛にご送付ください。

東京都千代田区内神田1丁目8番9号 福田ビル2階

TEL:03-3256-2575 FAX:03-6745-7678

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構内

「光老化」啓発プロジェクト事務局

2) 寄付金を次の口座へお振込みください。

銀行名：三井住友銀行 浜松町支店

口座名義：特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

口座番号：普通 7393411

7. 事業および決算報告

当法人ホームページによる公示及び事業報告書を提出いたします。

8. 問合せ窓口

東京都千代田区内神田1丁目8番9号 福田ビル2階

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構 事務局長 平松 泰成

E-mail : hikarirouka@npo-hifu.net

TEL:03-3256-2575 FAX:03-6745-7678

ご協賛者様特典

協賛A：5口以上（250万円以上）

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社バナー広告掲載1年間（社名記載・リンク含む）
- ・貴社主催セミナー等イベントでのプロジェクト名の使用
- ・貴社Webサイトおよび印刷物等制作物における
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）
光老化啓発プロジェクト・ロゴマークの使用
- ・貴社名入りの啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・メディアセミナーへの参加
- ・貴社PR活動・取材への協力（啓発プロジェクト委員会医師による）
- ・委員会実施の各種調査結果公表前先行提供・貴社資材での使用

協賛B：2口以上（100万円以上）

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社名の掲載及び貴社指定サイトへのリンク
- ・貴社主催セミナー等イベントでのプロジェクト名の使用
- ・貴社Webサイトおよび印刷物等制作物における
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）
光老化啓発プロジェクト・ロゴマークの使用
- ・貴社名入り啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・メディアセミナーへの参加
- ・貴社PR活動・取材への協力（啓発プロジェクト委員会医師による）
- ・委員会実施の各種調査結果提供・貴社資材での使用

協賛C：1口以上（50万円以上）

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社名の掲載及び貴社指定サイトへのリンク
- ・貴社名入り啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・貴社Webサイトおよび制作物における
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）
光老化啓発プロジェクト・ロゴマークの使用
- ・メディアセミナーへの参加
- ・委員会実施の各種調査結果提供

協賛D：1口10万円 何口でも

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社名の掲載
- ・啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・貴社Webサイト
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）

協賛E（個人）：1口1万円 何口でも

- ・啓発プロジェクトホームページ個人名の掲載（希望者のみ）

寄付金（協賛金）申込書

年 月 日

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構
理事長 宮地 良樹 殿

住所 〒

連絡先メールアドレス

@

寄付申込 会社

又は氏名

代表者又は

担当責任者名



光老化啓発プロジェクトの趣意に賛同し、下記のとおり協賛金を申し込みます。

記

1. 協賛金額

協賛 A 協賛 B 協賛 C

1 口 50 万円 _____ 口 (_____ 円)

協賛 D

1 口 10 万円 _____ 口 (_____ 円)

協賛 E (個人)

1 口 1 万円 _____ 口 (_____ 円)

2. 払込予定日

(注) 払込み時期が複数回に及ぶ場合は、第一回目の振込予定日およびその金額と、その後の払い込み概略を記入してください。なお、領収書は寄付金受領後の度にご送付いたします。

年 月 日 円

3. 振込先

銀行名：三井住友銀行 浜松町支店

口座名義：特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

口座番号：普通 7393411

*振込手数料は御社にて御負担いただけますようお願い致します。

以上